



惨敗(参院選)と歴史的な大勝(衆院選)の背景  
—SNS社会の「消費者選挙」—

26.6

松本 正生

(社会調査研究センター 代表取締役社長)

## 期日前投票の割合(都道府県別)

(%)

都道府県	25年参院選	26年衆院選	都道府県	25年参院選	26年衆院選	都道府県	25年参院選	26年衆院選	都道府県	25年参院選	26年衆院選
北海道	41.0	44.1	東京都	39.6	41.3	滋賀県	45.2	51.1	香川県	47.1	49.0
青森県	49.4	50.9	神奈川県	38.4	41.8	京都府	38.3	44.1	愛媛県	49.5	52.4
岩手県	49.1	50.6	新潟県	44.7	53.5	大阪府	36.3	36.5	高知県	46.4	46.7
宮城県	44.0	44.3	富山県	42.9	54.2	兵庫県	41.7	43.4	福岡県	46.1	49.6
秋田県	64.3	67.3	石川県	51.6	63.4	奈良県	41.7	47.7	佐賀県	48.6	53.8
山形県	50.5	52.1	福井県	52.5	67.1	和歌山県	52.8	56.5	長崎県	50.8	57.2
福島県	52.2	56.4	山梨県	50.0	54.5	鳥取県	43.1	67.4	熊本県	49.9	53.7
茨城県	51.6	60.8	長野県	48.0	52.7	島根県	48.5	66.1	大分県	51.3	53.7
栃木県	46.6	51.8	岐阜県	49.9	52.6	岡山県	49.1	49.6	宮崎県	50.2	49.4
群馬県	43.7	47.2	静岡県	39.5	39.6	広島県	41.8	46.8	鹿児島県	47.9	51.5
埼玉県	38.7	42.9	愛知県	42.2	41.8	山口県	44.5	51.5	沖縄県	47.2	46.2
千葉県	43.4	49.4	三重県	44.3	46.6	徳島県	43.2	46.5	全国	43.2	46.5

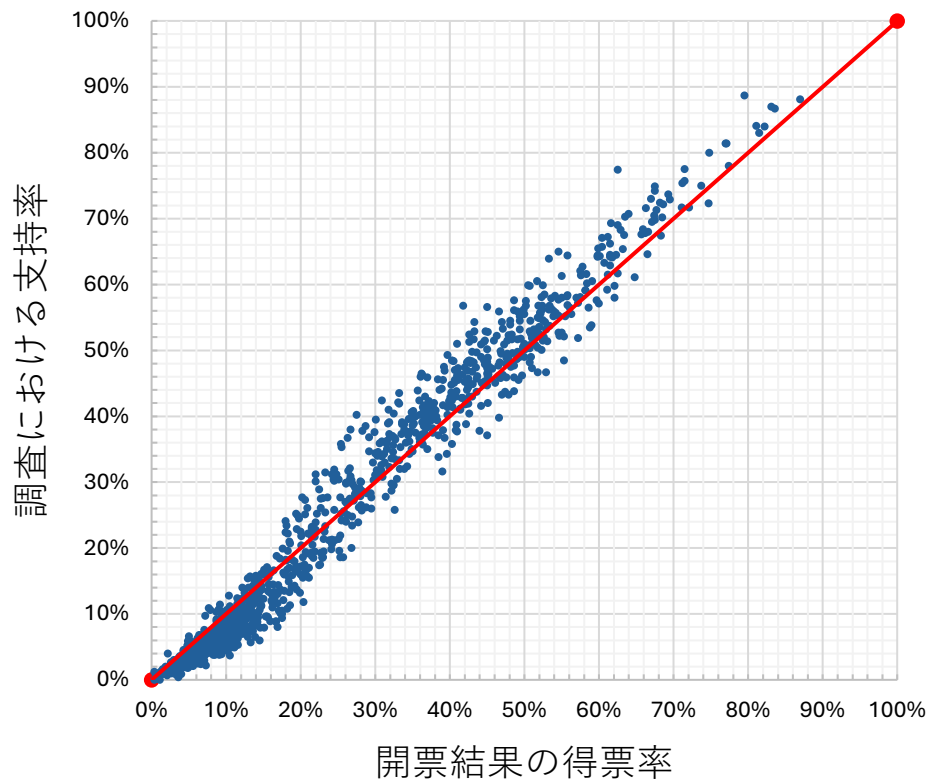
dサーベイは、社会調査研究センターが  
NTTドコモの協力を得て開発した調査手法

- ・ 全国約8,100万人の有権者を単一母集団とする  
「一人に1つのアカウント」なので個人単位の無作為抽出が可能
- +
- ・ 調査対象者の代表性を担保するとともに、回答者の構成も有権者（投票者）の縮図になっている
  - ・ 男女・年齢だけでなく、地域(投票区)単位でも 代表性が確保される

- ・ 2025, 2026年の2つの国政選挙で実施した各5回の情勢調査における有効回答者数は、参院選が約6～7万人、衆院選が26～27万人に及ぶ
- ・ 26年衆院選では、「自民310超の圧勝」と「中道1/3への激減」の数とプロセスを適格に把握

## 支持率(調査)と得票率(選挙)

2026衆院選 終盤調査(2/3-5)



## 投票志向の推移

2025年参院選

	序盤 (7/5~6)		中盤 (7/12~13)		終盤 (7/17~18)	
	選挙区	比例	選挙区	比例	選挙区	比例
自民	14	15	14	14	17	16
立憲民主	8	10	9	10	11	11
国民民主	5	7	6	7	7	8
参政	7	7	8	8	10	8

(%)



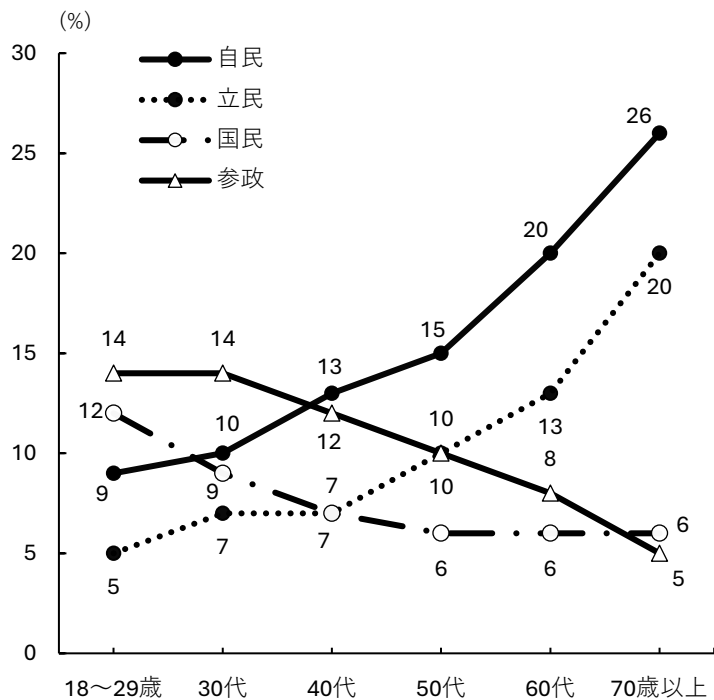
2026衆院選

	序盤 (1/28~29)		中盤 (1/31~2/1)		終盤 (2/3~5)	
	小選挙区	比例区	小選挙区	比例区	小選挙区	比例区
自民	23	23	25	24	31	26
中道	12	12	12	12	14	13
国民	3	5	3	5	4	6
参政	2	3	3	3	3	4

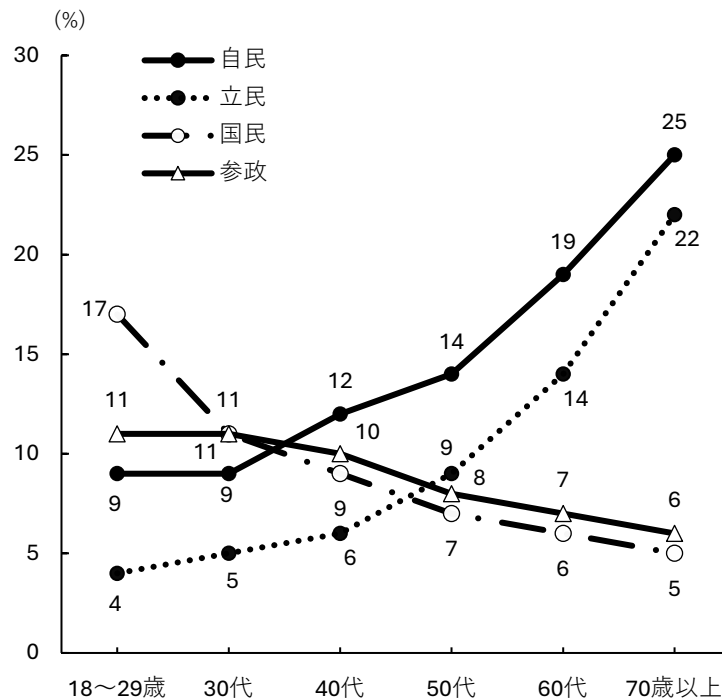
(%)

## 年齢別投票志向(終盤調査)

### 2025参院選[選挙区]

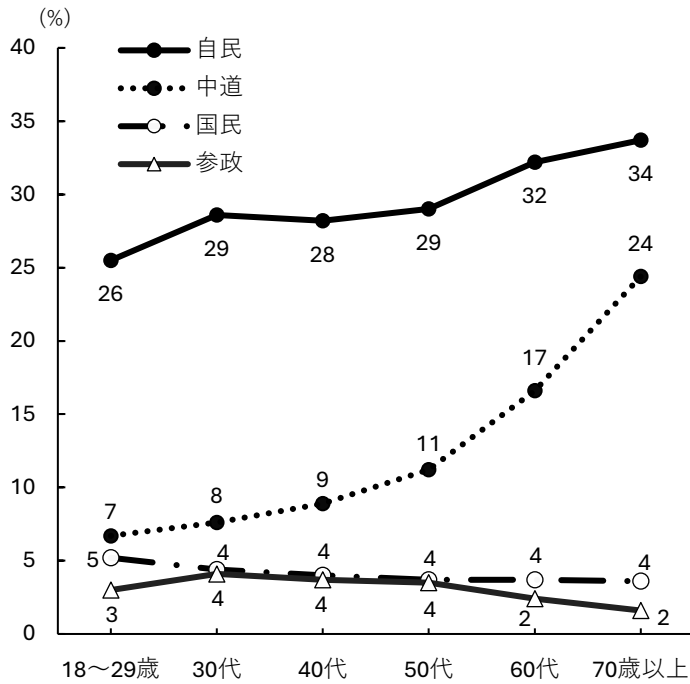


### 2025参院選[比例区]

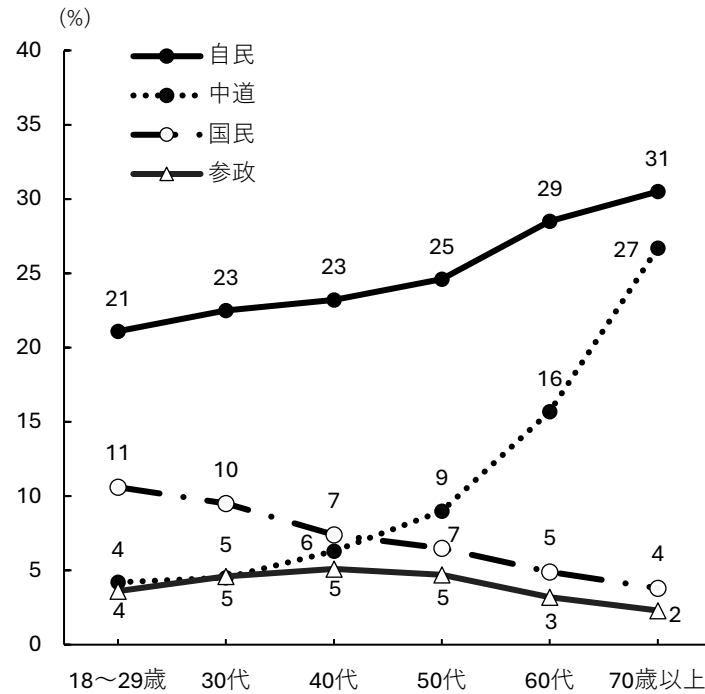


## 年齢別投票志向(終盤調査)

### 2026衆院選[小選挙区]



### 2026衆院選[比例区]



## 支持政党別投票志向(終盤調査)

2025年参院選 [選挙区]

	自民 [21]	支持なし [49]
自民	51	7
立憲民主	4	9
国民民主	4	5
参政	7	6

(%)

2025年参院選 [比例区]

	自民 [21]	支持なし [49]
自民	56	6
立憲民主	4	8
国民民主	6	6
参政	7	6

(%)



2026衆院選 [小選挙区]

	自民 [26]	支持なし [45]
自民	69	17
中道	5	10
国民	2	3
参政	1	2

(%)

2026衆院選 [比例区]

	自民 [26]	支持なし [45]
自民	72	12
中道	4	7
国民	3	5
参政	2	2

(%)

## 26衆院選の投票行動(埼玉県:支持政党別)

投票行動調査 (2/8)

投票 \ 支持	参政		公明	
	小選挙区	比例区	小選挙区	比例区
自民	43	16	18	9
中道	7	2	69	84
参政	37	67	1	0

(%)

※投票行動調査は出口調査に相当する。

dサーベイは投票日当日に加え期日前投票の捕捉も可能

## 有権者レベルでの構造変化

- ・新しいVotersのプレゼンス

投票所が遠いところではなくなった人たち



比較せずに選べる、比較しなくても投票できる

支持・投票は自己表現のパフォーマンスか

cf.「自分ごと」の両義性

## ・投票行動の変貌

目先の選挙を勝ち抜くための短期的マーケティング戦術が  
くり返される中で、有権者みずからが消費者になり切った



「賢い消費者」の正解選び？

※各データの無断使用、転載は固くお断りします